

登録コード	J6190200	開講年度	2026					
授業科目	基礎演習					担当教員		
英文授業名	Basic Law Seminars					副担当		
単位数	4	講義期間	通年	曜日・時限	集中・	対象学年	(20・23カリ対象科目) 法：2年	
講義室				授業区分	演習	遠隔授業科目		
信大コンピテンシー	該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」					⇔	【授業の達成目標】	
	経法23初（2026改）・総合法律，経法23初・総合法律，経法20初・総合法律							
	法学の専門領域の基礎能力として，リーガルマインドを備え，現代社会の諸問題を法的に解決していく上で必要な法学体系の基礎専門知識を身につける。					⇔	リーガルマインドを備え，現代社会の諸問題を解決していく上で必要な憲法・刑法・民事法学・政治学に関する基礎的な概念や理論について説明することができるようになる。	
(2)授業で学べる「テーマ」	その他							
(3)全学横断特別教育プログラム								
(4)授業の概要	本演習は、各回の担当者による報告と質疑応答を中心に進めることを予定している。ただし、報告のテーマ、形式などは担当教員によって異なるため、詳細は開講後に指示する。							
(5)授業計画	それぞれの学期の初回に履修上の注意などを確認したうえで、残りの回は、テーマ報告、判例報告、事例問題の検討などにあてる予定である。報告のテーマは、担当教員の専門分野を踏まえ、法学・政治学に関する基礎的な問題から選択・提示される。							
(6)成績評価の方法	成績評価は、報告内容や議論への参加状況、担当教員が指定した成果物を総合的に考慮して行う。配点は初回授業で連絡する。							
(7)成績評価の基準	各回のテーマに関する文献を広く収集し、その内容を正確にまとめることができるだけでなく、(a) 調査範囲が相当広く、(b) 非常に発展的な内容が報告などの中で言及され、かつ (c) 報告などの方法が聞き手にわかりやすくなるように工夫されていれば、「卓越している」。(a)～(c)の項目のうち、2項目が満たされていれば、「かなり上にある」、1項目だけ満たされていれば、「やや上にある」。その他の場合は、「水準にある」。							
(8)事前事後学習の内容	基本的に、すべての受講生に対して、各回のテーマについてある程度の予習を行うことを求める。予習の方法などについては、開講後に指示する。							
(9)履修上の注意	関連科目を履修済（あるいは履修中）であることが望ましい。もっとも、これらの科目を履修していないからといって、本演習への参加を拒むことはない。 また、原則として、欠席は認めない。やむを得ない事情がある場合には、必ず事前に連絡すること。							
(10)質問,相談への対応	演習中に随時受け付ける。また、必要があれば、メールなどでも対応する。							
【教科書】	開講後に指示する。							
【参考書】	開講後に指示する。							